

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

特発性/進行性下顎頭吸収 (ICR/PCR) および変形性顎関節症 (OA) に関する臨床統計学的研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2010年4月1日から～2020年12月31日までに、昭和大学歯科病院 矯正歯科で矯正治療の検査を受けた方

2. 研究目的・方法

特発性/進行性下顎頭吸収(ICR/PCR)および変形性顎関節症(OA)とはどちらも下顎の関節がすり減ったり、変形する病気です。症状としては下顎の関節の骨が吸収することで前歯が開いてきたり、かみ合わせが悪くなり、結果として顎関節症や健康障害が発生する危険性があります。しかし、なぜそのような症状が起こるのか原因は未だ不明で、具体的な治療法が開発されていません。

そこで私達は、このような症状がある患者さんの診療データやレントゲン写真、CT画像、MRI画像、口腔内模型を調査・比較することは歯科矯正学だけでなく患者さんの口腔内や全身の健康を守るために非常に有益と考えました。そして今回昭和大学歯科病院矯正歯科における来院患者を調査し、発症の傾向や原因を明らかにすることを目的としこの研究を計画しました。

研究期間

「昭和大学歯科病院臨床試験審査委員会」承認後、病院長の研究実施許可を得てから2025年3月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、問診表、治療内容、口腔内写真、頭部X線規格写真、パノラマX線写真、コーンビームCT画像、MRI画像、口腔内模型

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先(研究責任者):

所属:昭和大学歯科病院(歯学部歯科矯正学講座) 氏名:中納 治久

住所:145-8515 東京都大田区北千束 2-1-1 電話番号:03-3787-1151(内線 262)